

2006年 新年の



松前町議会議長

木下 淳

皆様、新年明けましておめでとうございませう。輝かしい希望に満ちた新春を健やかに迎えのこととお慶びを申し上げます。

昨年は自然災害が多く、今までになかった自然界の異変に、人間の自然環境破壊が原因で地球温暖化が起こり、異常気象になってきているのではと思われまふ。災害がいざ起こったときに、いつでも対処できるように自主防災組織(自分たちの町は自分たちで守る)をつくり、日頃から定期的な訓練をしておく必要があります。

そして、世界各地でテロが相次ぎ大勢の死傷者が出ました。人為的な事故では、JR福知山線の脱線事故で大勢の死傷者が出て、JR史上最悪の事故となりました。亡くなられた方々に対し、心からご冥福をお祈りします。

明るい話題としては、愛知万博が開催され入場者数が1985年のつくば万博を抜いて大盛況のうちに幕を閉じました。

また、スポーツでは、サッカーのワールドカップ(W杯)アジア最終予選で日本が勝ち、3大会連続のW杯出場の権利を得ました。

また、米航空宇宙局(NASA)のスペースシャトル「ディスカバリー」が打ち上げに成功し、日本からは野口聡一さんが搭乗して、船外活動などを果たし、無事帰還しました。

町内においては、東レ愛媛工場に炭素繊維の生産ラインの増設をして、平成19年1月からの稼働予定となっております。松前町にとって新たな税収と多数の雇用が期待されます。

この他にも、様々な出来事がありました。自然災害、テロのない平和で安心して暮らせる社会であつてほしいと願います。

さて、現在、国におきましては、経済の再生に向けた構造改革が進められています。

地方分権と行政改革と財政危機の変動が始まりました。国、自治体を問わず、行政は大きな転換期を迎えています。変化の動きは新たな社会に向けた世界的な大きな変革の動きの現れとも考えられ、近代化とともに形成され維持されてきたこれまでの行政システムが根本的な見直しを迫られています。

国と自治体及び自治体間の関係のあり方の変化を踏まえて、私たちの現状が大きく変わろうとしている動向を見極め、自己変革を遂げていく努力をしていかなければなりません。

さらに、財政状況の健全化をはかるため組織や事業の再点検を行い効率的な行政運営への改善が必要になってきます。

町議会といたしましても時代を見据えた情報分析をして、町民の皆様の求める効率のよい行政を念頭に、理事者と共に町政運営に努力していく所存であります。

多難な財政状況と依然として厳しい生活環境ではございますが、町民の皆様の更なるご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。新年が皆様にとって輝かしいものであることを心よりお祈りしまして、ごあいさつといたします。

松前町議会

副議長

藤川 修次

議員

岡井馨一郎

澤田登代一

松本一二美

早瀬 武臣

重川 利春

伊賀上明治

三好 勝利

小野 景史

田中 昭雄

三好 悦男

植田 喜晴

岡田 幸一

亀井 隆典

加納太郎次